

チャリティコンサートを開催 村への寄付をいただきました



チャリティショー（右の写真）から「いいいてっ子未来基金」に4万6,250円の寄付をいただきました。佐藤さん（右）と杉岡村長

12月6日、交流センター「ふれ愛館」で、「征人ミュージック・オフィス」「日本舞踊 藤華新流」主催の「2020★唄と踊りのチャリティショー」が行われました。「あなたがスター、あなたのステージ」をテーマに、一般参加者を募集して開いたステージです。12月9日には、歌手名・藤田征人こと佐藤宣征さん（前田・八和木）が来庁し、村への寄付を杉岡村長に手渡しました。



クリスマス・ジャズ・コンサート 上質な演奏で贅沢な時間を



上質なサウンドと心に染みる歌声に満たされた会場。冬のひとときが華やぎました

12月12日、交流センター「ふれ愛館」で、交流センター自主文化事業「クリスマス・ジャズ・コンサート」が開かれました。出演は、東京・表参道を中心に活躍する人気グループ「スイート・ネイル」。洗練されたサウンドで、クリスマスソングやスタンダードナンバーを演奏しました。終演後、松下一男さん（草野）は「ジャズが好きなんだ。とてもよかったよ」と余韻をかみしめていました。福島高校JAZZ研究部もオープニングに出演。司会はテレビユー福島「Nスタふくしま」キャスターの小野美希さんが務めました。

年末の事件事故を防止しよう 関係機関が街頭キャンペーン



村内の金融機関を訪問。写真はJAふくしま未来飯館総合支店の窓口で啓発グッズを手渡す防犯指導隊

12月14日、飯館村防犯指導隊（渡邊富士男隊長／飯樋町）が、南相馬警察署や交通安全関係団体、協力企業と共に、「年末の事件・事故防止に係る街頭キャンペーン」を実施しました。開催式では、杉岡村長、遠藤勉南相馬警察署長、渡邊隊長が隊員らに感謝を伝え、南相馬地区交通安全協会の只野俊飯館分会長（前田・八和木）が「村民の心に伝わる活動に」と呼びかけました。参加者は班に分かれ、長泥地区などの警戒パトロールや金融機関の訪問、道の駅での交通安全の呼びかけなどを行いました。

台湾に福島を伝えよう 「福島前進団」が来村

台湾と福島をつなぐ交流プロジェクト「福島前進 Pop Up Fukushima」の一環で行われた県内ツアーの一行が、11月17日、飯館村を訪れました。このツアーは、SNS（会員交流サイト）を通じて交流する「福島前進団」の最初の取り組みです。公募で選ばれた、日本で暮らす台湾人の留学生や社会人など5人が、県内をめぐる中で来庁しました。5人はそれぞれフェイスブックなどで、福島を魅力を発信します。「地域の文化や魅力を台湾に伝えたい」と意気込みを話していました。



来庁した5人とツアーを主催したNPO法人「元気になるう福島」の皆さん。杉岡村長（中央）を囲んで

クリスマスをテーマに 寄せ植え教室を開催

11月19日、交流センター「ふれ愛館」で、生涯学習事業「クリスマスの寄せ植え教室」が開催されました。講師は樹木医の鈴木俊行先生。毎年人気の講座で、今年は32人が参加しました。

教室では、植える植物の特徴や、寄せ植えのコツを教わり、参加者がそれぞれ自分の寄せ植えづくりに取り組みました。植物に向き合うひとときは、終始リラックスした和やかな雰囲気。参加者の皆さんは、先生からアドバイスをもらいながら、思い思いの素敵な寄せ植えを仕上げていました。



ポインセチアや西洋ヒイラギなどを使いクリスマスムードいっぱいの寄せ植えに

シルバー人材センターが 村役場で奉仕作業

11月19日、「そうま広域シルバー人材センター」（菅野哲理事長／草野）に所属する村民の皆さんが、村役場の前庭で、奉仕作業を行っていただきました。20人を超える皆さんが参加して、落ち葉の片付け作業です。山ほどの落ち葉を、協力しつつ、きれいに片付け。「シルバー」を名乗っていらっしゃいますが、現役と変わらぬ仕事ぶりです。作業後は、杉岡村長と懇談しました。



分担して手際よく作業が進められ、前庭はすっかりきれいに。作業が終わり庁舎をバックに記念撮影